

“V到”と“V见”について

郭 雲 輝

0. はじめに

現代中国語では，“看到”“看见”のように，“V到”と“V见”（Vは動詞を示す）の両方の形が使用されているが，両者は同じ意味を表すのか，違う意味を表すのか，違うならどう違うのか，という質問をよく中国語学習者から受ける。本稿では“V到”と“V见”は一体それぞれがどういう特徴を持っているのか，両者の間にどういう共通点と相違点が見られるのかを調べてみたい。

1. “V到”

1.1 “V到”の文法的特徴

初めに“V到”の文法的な特徴についてみる。

イ.“V到”の後ろに，アスペクト助詞の“了”“过”が現れる。

1) ……大虎扶着他走到了对岸。 (資料1)

(…大虎は彼を支えながら対岸まで歩いた。)

2) 我想到过这个问题。 (黄華1984)

(私はこの問題を考えたことがある。)

3) 旅游车到了北京，却碰到了麻烦。 (資料4)

(観光バスは北京に着いた。しかし，面倒なことにぶつかった。)

“V到”の後ろにアスペクト助詞“着”は現れない。その理由は“V到”の後ろに結果補語がくるので，“VR（結果補語）”の後ろにすべて“着”がつかないからである。

ロ. 音声の切れ目は“V”の後にあるのではなく，“到”の後にある。これは“V”と“到”とが切り離せない，言い換えれば“到”は膠着性の強いものだということの現れである。

- 4) ……追到／爸爸的背后…… (資料1)

(…お父さんの後ろまで追いかけた…)

- 5) 我早就料到／是这样的。 (資料1)

(私はとっくにこんなことは予想がついていた。)

“V”と“到”との結合の度合いが高いことを示す現象としては、アスペクト助詞“了”“过”が前述したように、いつも“V到”の後にきたり、おなじアスペクトの意味を表す“没／没有”が“V到”の前にきたりしても、“V到”の間に挿入することは絶対ないという点が挙げられる。

- 6) 二锁问大虎：“怎么还没走到？” (資料1)

(二鎖は大虎に「何故まだ着かないの？」と聞いた。)

- 7) 这可是倚云没料到的。 (資料11)

(これは倚雲が思いもよらないことだった。)

ハ.“V”と“到”との間に“不”“得”が現れることがあっても、次の例によって示されるように、「可能態」を表す単語のすべての“V”と“到”の間に位置するのではなく、“V”の前にくるものもある。次の例では“V”の前に使われているのは「能願動詞」とされるものである。

- 8) 你还会看到会场门口的三面大红旗，…… (資料1)

(あなたはまた会場の入口に三つの大きい赤い旗が見えるだろう。)

- 9) 对于眼前的一杯满满的青春美酒永不会想到有一天也要喝干了的；……

(資料1)

(目の前の満々の青春の美酒の杯を、いつの日かすっかり飲み干してしまうということに永遠に気付かない。…)

- 10) 然而要政治上轨道，不是靠军人就能办到的。 (資料1)

(しかし、政治を軌道にのせるのは、軍人に頼ってできることではない。)

1.2 “V到”の意味

“V”と“到”の組み合わせでは、“V”が核であって、“到”が補助成分として、文法的な意味を添えている。次に、“到”が“V”にどのような意味を与えているのかを、考えてみよう。

“V到”と“V见”について

呂叔湘1980では，“到”の意味を次のように分類して記述している（以下，出典を記していない例11）～例20）は呂叔湘1980による）。

① “V到”は動作が目的まで到達したことや，ある結果をもたらしたことを表す。

- 11) 好容易走到了。
（やっとのことで歩き着いた。）
- 12) 我今天收到了一封信。
（今日は1通の手紙を受け取った。）

② “V到”は場所名詞と結び付いて人または物が動作とともにある場所へ到達したことを表す。

- 13) 他回到了家乡。
（彼は故郷へ帰り着いた。）
- 14) 他一直把我送到村口。
（彼は私を村のはずれまで送ってくれた。）

③ “V到”は時間名詞と結び付いて動作がいつまで継続するかを表す。

- 15) 等到明年暑假我再来看你。
（来年の夏休みになったらまたあなたに会いに来ます。）
- 16) 大风刮到下午两点才停止。
（大風は午後の2時になってやっとやんだ。）

④ “V・A到”は数量や程度を表すフレーズと結び付いて動作や性質・状態がある程度に到達したことを表す（Aは形容詞を示す）。

- 17) 他的视力已经减到零点一了。
（彼の視力はすでに0.1まで落ちた。）
- 18) 这个人真是坏到极点了。
（こいつは本当にとことん悪い奴だ。）

⑤ “A到”は動詞句と結び付いて状態の到達程度を表す。

- 19) 声音高到不能再高了。
（声はこれ以上高くできないほど高かった。）
- 20) 有些生物小到连眼睛都看不见。

(ある種の生物は肉眼では見えないほど小さい。)

以上から“V到”は動作が目的に到達すること、動作を通じて事物をある場所に到達させること、動作がいつまで続いたかを、動作や性質・状態が発展、変化して到達した程度などを表す。

2. “V见”

2.1 “V见”の文法的特徴

1.1のところ“V到”の文法的特徴をみたが、“V见”も、“V到”と同じようにアスペクト助詞“了”“过”がその後に現れたり、“没/没有”がその前に現れたりしている。

21) 接着，女孩子也看见了。 (資料1)

(続いて，女の子も見えた。)

22) 这些，亲眼看见过没有？ (資料1)

(これらを自分自身の目を見たことがある？)

23) 王念慈因为太高兴了，连上课铃也没听见。 (資料1)

(王念慈はあまりの嬉しさに，授業開始のベルさえ聞こえなかった。)

また，アスペクト助詞“着”が“V见”の後に現れない。

“V见”も“V”と“见”の間に“不”，“得”を入れることができる。また，“V见”の前に“能”“会”などを置くこともできる。

24) 我只觉得我四面有看不见的高墙，将我隔成孤身，使我非常气闷；

(資料9)

(私は自分の廻りに目に見えない高い塀があって，私一人を隔てていて，非常に息苦しいと感じた。)

25) 朱丽听不见讲些什么，因为正放着音乐，只见他们话真多，见面就说个没完。 (資料10)

(音楽がかかっていたので，朱麗は(彼らが)何を話しているのか聞こえなかった。ただ，彼らの話題が多くて，会ってからずっと話をしているのが見えた。)

26) 她座位前边是一对年轻的男女，看不清他们的脸，只能看见他们新鲜人

“V到”と“V见”について

时的发型和漂亮的上衣。

(資料4)

(彼女の座席の前には若いカップルがいて、彼らの顔ははっきり見えないが、ただ、彼らの流行のヘアスタイルと綺麗な上着が見える。)

- 27) 到三点的时候,你若出去,你会看见马宗融先生在门口与一位老太婆,或是两个小学生,谈话儿呢!

(資料7)

(三時頃、もしあなたが出かけるなら、馬宗融さんが入口で一人のおばあさん、或は二人の小学生と話をしているのが見かける。)

2.2 “V见”の意味

“V见”の意味については、劉月華等1983(日本語訳本 p.451)に次のような記述が見られる。

“见”の基本的意味は「見て、そして結果を得る——見て目に入る」ということである。“见”が結果補語になる場合、ふつうは動詞“看、瞧、瞅、望、听、闻”の後だけに用いられ、「動作が結果を得る」という意味を表す。

- 28) 青島的洋人既不少,而且洋派的中国人也甚多,这就难怪到处看见西红柿。

(資料7)

(青島の西洋人は少くない、そして西洋風な中国人もかなり多いので、至るところにトマトが見かけるのは不思議ではない。)

- 29) 一次她听见善保问姜敏,她和余先生讨论什么问题呢。

(資料14)

(ある時彼女は善保が姜敏に、余先生とどんな問題を討論しているのか、ときいているのが聞こえた。)

つまり、「感覚」を表す“见”は、視覚・聴覚・嗅覚に関わる動詞と組合わさることが多いということである(呂叔湘1980、p.262)。“见”はまた、“遇、碰、梦”と組合わさることもある。例えば、次のような場合である。

- 30) 一路上,我提心吊胆地生怕碰见同学。

(資料1)

(来る途中でずっとびくびくして、クラスメイトと出会うのを恐れた。)

- 31) 我梦见高老板凶恶的抓着爸爸的衣领,……

(資料1)

(私は高且那が憎憎しげにお父さんのえりをつかんでいる夢をみた。)

- 32) ……认出此人正是那天在高粱地遇见的那个八路军,……

(資料3)

(……この人が正にあの日に高粱畑で出会ったあの八路軍、と分かつ

た。)

3. “V到”と“V见”との比較

以上，“V到”と“V见”について考察してきたが、次に、両者の相違点をいろいろな角度から考えてみたいと思う。

3.1 “到”と“见”の結合する動詞について

3.1.1 結合能力の相違

まず、結合能力について言えば，“到”の接続する動詞は一音節のものも二音節のものもあるのに対して，“见”の場合は一音節の動詞にしかつかない。“到”の前には二音節の動詞も現れる。

例えば；注意，留意，意识，感觉，理会，估计，猜测，疑心，飞奔，移动，跑回……

次はその用例である。

33) “你们留意到么？少了人了：雷参谋和交际花！” (資料2)
〔君達は気が付いた？人が足りない：雷参謀と“交际花”！〕

34) 我急忙从房上下来，飞奔到牆外。 (資料1)
〔私は急いで屋根から降りてきて、へいの外へ一目散に走った。〕

“见”は、それと結びつく語の音節数が限られているだけではなく、ほとんど動詞としか結びつかないところにも特徴がある。それと異なり，“到”は主に動詞と組み合わさるほか、形容詞と結合して使われることもある。

35) 却想不到他们会下作、无耻、低级、野蛮到如此地步。 (資料3)
〔彼らがこんなに卑しく、恥知らずで、下品、野蛮だとは思ってしなかった。〕

36) 哪怕只有碗那样粗细，它却努力向上发展，高到丈许，两丈，…… (資料12)

〔たとえ碗ぐらいの太さでも、一生懸命に上の方に伸びて、一丈，二丈まで伸びて，…〕

又，“到”は慣用句の後に来ることもできる。

37) 你竟然没出息到这种地步。 (作例)

“V到”と“V见”について

(君はなんとこんなに見込みがないのか。)

以上の例は“见”にくらべて“到”の結合能力が大きく、制限がゆるやかであることを物語っている。

3.1.2 数量的比較

上で見たことを量的にみると，“见”はその表す意味範囲に制約を受けていることもあって、接続する動詞が下記のように限られている。

看, 望, 瞧, 瞅, 瞥, 听, 闻, 遇, 碰, 撞, 梦, 找

それに対して, “到”と結合する動詞は, 次のリストを見て分かるように断然多い(このリストは, 筆者の集めた実例に基づいて作成したものである)。

一音節動詞

看, 望, 瞧, 瞅, 听, 闻, 遇, 碰, 撞, 梦, 找, 见, 吃, 喝, 尝, 说, 讲, 问, 谈, 喊, 叫, 来, 回, 走, 跑, 冲, 扑, 投, 跳, 爬, 躺, 逃, 躲, 追, 跟, 站, 坐, 赶, 奔, 钻, 迈, 落, 升, 围, 领, 引, 送, 收, 插, 献, 递, 摆, 提, 捉, 捡, 摸, 抓, 抢, 搬, 搁, 抬, 放, 举, 系, 塞, 射, 掉, 滑, 吹, 刮, 淹, 请, 料, 钻, 通, 遭, 逢, 等, 接, 弄, 买, 卖, 包, 跌, 闯, 转, 轮, 喷, 联, 伸, 砸, 传, 运, 受, 混, 得, 触, 分, 响, 住, 停, 带, 睡, 活, 熬, 做, 想, 感, 猜, 关, 摇, 种, 害, 弄, 闹

一音節形容詞

高, 红, 冷, 坏, 静, 窄

二音節動詞

意识, 注意, 留意, 疑心, 感觉, 飞奔, 猜测, 移动, 跑回, 集中, 理会, 估计, 结合, 改善, 回忆, 隔绝, 联想, 体会, 考虑, 讨论, 影响, 聚集, 溜达, 推广, 散布, 介绍, 提高, 流传, 工作, 唤回, 卷入, 打听, 激化, 了解, 佩服, 熟悉

二音節形容詞

败坏, 高兴, 冷清, 老实, 快乐, 野蛮, 紧张, 兴奋, 顽固

慣用語 没出息, 神经衰弱

以上のように, “到”と結合する動詞は“见”に比べてずっと多いのだが,

その理由については以下のように考えられる。

“见”は“到”ほど意味が抽象化していない。つまり，“V见”になってもまだ“见”の本来の語彙的な意味が生きている。“看见，望见，瞧见，瞅见，瞥见，听见，闻见”は「視覚，聴覚，嗅覚」を表し，“遇见，碰见，撞见，梦见，找见”は「会う，出会う」の意味を含んでいる。しかし，“到”は意味の抽象化が進んでいるので，色々な動詞や形容詞などと結合することができる。

3.2 意味用法の異同

ここでは，“V到”と“V见”の，意味用法における共通点と相違点について述べる。

現象的に見れば，以下に示すように，“见”と結合する動詞は，ほとんど例外なく“到”と結合することができる。

看到—看见	听到—听见	闻到—闻见
碰到—碰见	遇到—遇见	梦到—梦见
望到—望见	找到—找见	撞到—撞见

しかし，逆に「到」と結合する動詞のすべてが，“见”と結合できるわけではない。まず，“见”と結合することができず，“到”と結合することができる“V到”をみてみよう。例えば；“问到，讲到，走到，跑到，想到，感到，注意到，留意到”などがそうである。

“V到”には主に次のような用法がある。

イ) 動作，或は感知がある結果をもたらしたことを表す。

38) 我终于在坟地上捉到了一只蟋蟀。 (資料1)

(私はやっと墓地のところで一匹のこおろぎを捕まえた。)

39) 她从那人的盯视中仿佛感到那人心底的痛苦和怨气。 (資料4)

(彼女はその人のまなざしからその人の心の底からの苦しみと憎しみを感じた。)

“意识，注意，感觉，疑心”などのような動詞が“到”と結合する時には自然に生じた人間の心理状態の変化を表している。

40) 仿佛突然意识到大家原来是来吊孝的，…… (資料2)

(突然皆が実はお悔みを述べに来たのだと意識したようだ。)

“V到”と“V见”について

- 41) 这时候，陈步高却早已感觉到了，…… (資料1)

(この時、陳歩高はとっくにそう感じていた、…)

ロ) 人や物が動作と共にある場所に到達した、或はある状態に変化したことを表す。

- 42) 他走到“制服”跟前，慢条斯理地问道：“您贵姓？” (資料4)

(彼は“制服”の前に来て、ゆっくりと「お名前は？」と聞いた。)

- 43) 今天的气温下降到零下 3°C 了。 (作例)

(今日の気温は零下 3°C に下った。)

ハ) ある時間まで動作や状態が続いたことを表す。

- 44) 现在别的便宜拾不着，大姑娘说可以住到十二点，…… (資料13)

(現在他の利益を拾い上げないので、あのお姉さんは十二時までいられると言ったから、…)

- 45) 我们谈到夜闌才散。 (資料15)

(我々は深夜まで話をした。)

次に、“见”とも“到”とも両方結合することのできる例をみてみよう。

“见”については、趙元任1979 (p. 208~209) に鋭い指摘がある。“见”が「相」を表す補語として使用される時に、“V”の表す動作は動作者が遭遇した動作であって、それが自ら進んで行う動作であってはならないということが義務づけられているという。主に意外性や自然発生的であることを表すのは“V见”の務めであろう。意外性を前面に押し出す“V见”は、次のように、意外を表す副詞と共に起したり、きっかけを表す複文に使われたりすることが多い。

- 46) 忽然听见铜茶壶“砰——”的一声，…… (資料1)

(突然、銅のやかんの「ドカン」という音が聞こえた。…)

- 47) 忽然我看见一个人踏着蹒跚的步子，…… (資料1)

(突然私はある人がよろよろと歩いているのが見えた、…)

- 48) 小松一回头看见了姐姐，…… (資料1)

(小松がふりかえるとお姉さんが見えた、…)

- 49) 一仰脸望见东边天上现出半轮上弦的白月亮，…… (資料5)

(顔をあげると東の空に半輪の上弦の明るい月が出てきたのが見えた、

…)

- 50) 刚跑到保卫科的门口，就碰见赵科长，王同志他们正往外走，……

(資料1)

(警備室の入口まで走って来ると、ちょうど出かけようとしている趙課長，王さんに出会った。…)

- 51) ……刚要下台阶，就瞧见一个人走进院子，…… (資料3)

(階段を降りようとしていたところ，ある人が庭に入ったのが見えた。…)

- 52) 每当夜间疲倦，正想偷懒时，仰面在灯光中瞥见他黑瘦的面貌，……

(資料6)

(いつも夜になって疲れていて，ちょうど怠けたいと思っているとき，顔をあげると光の中に彼の黒くて痩せている顔がちらりと見える。…)

もともと意志的な動作を示す“听，看，望，瞧，瞥”などは“见”を伴うと，意志性が消えてしまい，無意志動詞になってしまう。例えば，“看，听”はもともと「みる，聞く」の意味であり，自分の意志で行なう動作をである。しかし，“看见，听见”になると「見える，目にはいる，聞こえる，耳にはいる」というふうにその意味が修正されてしまう。つまり，自分の意志でなく，生まれつきの能力，或は物が勝手に目にはいる，耳にはいることを表す。これも“V见”の特徴の一つと見てよいだろう。

もっとも，“找见”のように，もともと意志動詞であるものが，“见”と組合わさってもその意味の性格になんらかの変更をもたらさない例がまったくないわけではない。

- 53) 找不见那个人不够数目，…… (資料3)

(あの人を捜しあてないと数が足りない。…)

一方，“到”の基本的な意味用法は動作がある目的を達成した，或いは結果を得たということを表すことにある。また，“看，望，瞧，听”などはもともと意志的な動作を示す動詞であるので，この時の“V到”は意志性や目的性を表すことが多い。そして，“V到”の後ろに抽象的な目的語がくることがある。

- 54) 如今姚宓看到彦成的疏远和冷淡，觉得自己只要做到“别做傻瓜”就行。

“V到”と“V见”について

(資料14)

(今姚宓は彦成がよそよそしく、冷たくなったのを見て、自分が只馬鹿にならなければよいと思っていた。)

- 55) 六七月之间才真看到青岛的光荣, 尤其是初次看到, 更觉得有点了不得。

(資料7)

(六七月の間やっと青島の光栄を見た、特に初めて見たので、とても素晴らしいと思った。)

また、この時の“V到”もその後ろに場所や、時間を表す語句などくることができる。

- 56) 明天休息, 今天晚上你可以看到十二点。 (作例)

(明日休みだから、今晚は十二時まで見てもよい。)

- 57) 听到这里, 他忍不住笑了。 (作例)

(ここまで聞いて、彼はこらえきれずに笑いだした。)

以上の例54)から例57)までは全部“V见”に換えられない。

ところが、“碰、遇、撞”はもともと無意志的な動詞で、“见”と結び付いてもその無意志性は変わらない。“碰见、遇见、撞见”の対象は「人」の場合が多い。また、たとえどこかで会っても、お互いに挨拶するときもあれば、しないときもある。

- 58) 在楼道里, 她遇见王敬之, 陪着一个三十几岁的女人走向自己的房间。那女人默默不语, 好象隐忍着满腔的仇恨。王敬之也只瞥了夏亦秋一眼, 似乎根本不认识她, 领着那女人匆匆走了。 (資料7)

(廊下で彼女は王敬之に出会った、…)

- 59) …… “你碰见姜敏了吗? 你跟她说什么来着?” (資料14)

(…「君は姜敏とばったり出会ったのか彼女と何を話していた?」)

このような“碰、遇、撞”は“到”と結び付いても意志性を表すことはない。但し、“碰到、遇到、撞到”の対象は必ずしも「人」でなくてもよい。例えば：“电线杆子、墙、玻璃、汽车”など。さらに抽象的なものでもよい。

- 60) 这件事开头的时候, 同样也遇到了一些困难。 (資料1)

(この事は初めの頃、同じような困難にも合った。)

- 61) 他不小心撞到电线杆子上了。 (作例)
(彼は不注意で電信柱にぶつかった。)

以上の例 60), 例 61) は“V见”に換えられない。

また、対象が「人」である場合、どこかで会ったら、必ず挨拶をしたことになる。

- 62) 在康乐餐厅门口，蓦地遇到那对新郎和新娘。“哎，这位大姐，不，得叫你阿姨吧？”…… (資料14)

(康楽レストランの入口で、ばったりあの新郎新婦と出会った。「やあ、お姉さん、いや、おばさんと呼ばなければならぬでしょ？」…)

- 63) 路上每遇到一位熟人，便要谈，至少有十分钟的话。 (資料7)

(途中で知合いと出会うと、話をしなければならぬ、少なくとも十分間は話をする。)

それから、「感覚」を表す“V见”(看见，瞧见，瞅见，听见，闻见)は生まれつきの能力を表すことができる。

- 64) 蝙蝠眼睛几乎看不见东西。 (作例)
(コウモリの目はほとんどモノが見えない。)

- 65) 他耳朵听不见。 (作例)
(彼の耳は聞こえない。)

- 66) 猫在夜里也能看见东西。
(猫は夜でも見える。)

例64), 例65), 例66)は“V到”(看到，瞧到，瞅到，听到，闻到)に換えることができない。つまり，“V到”は生まれつきの能力を表すことができない。

4. まとめ

以上，“V到”と“V见”についてみてきた。両者の相違は以下のようにまとめられる。

- ① “V到”と“V见”の文法的特徴は主に以下のようなものである。

アスペクト助詞“了”“过”は“V到”、“V见”の後ろに現れる。“着”は現れない。

“V到”と“V见”について

否定の場合は、“没/没有”が“V到”、“V见”の前にくる。

“V”と“到”，“V”と“见”の間に“不”“得”が入ることができる。また、「可能態」を表す“能，会，可以”などを“V到”“V见”の前に置くこともできる。

②結合する動詞の相違によって，“V到”と“V见”の意味を違ってくる。

“见”と結びつく動詞は一音節動詞だけに限られている。“到”と結びつく動詞は数も多く、一音節動詞はもとより、二音節動詞も、そして、形容詞も結びつくことができる。一音節動詞に限って言ってもその数は“见”よりずっと多い。

“见”と“到”両方に結合できる動詞もあるが、意味的に異なる。

例えば；“V见”の場合は自然発生的であることを表すのが多く，“V到”の場合は意志的であることを表すが多い。また、「感覚」を表す“V见”は生まれつきの能力を表すことができるが，“V到”はできない。また，“V到”の後ろには抽象的な目的語がくることできるが，“V见”はできない。

“V到”と“V见”には次のような類義表現が見られる。

找到—找见—找着

碰到—碰见— / —碰上

例えば；“找到”“找见”“找着”はともに「探していたものを見つけた」という意味を表す。

66) 我找到了。(見つけた)

66)' 我找见了。(見つけた)

66)" 我找着了。(見つけた)

今回はこれらの差異までについては言及できなかった。今後の課題としたい。

〈付記〉

本稿の執筆に当たって貴重なご指導ご助言をいただいた相原茂先生はじめ、安藤好恵さん（DC 1年）及びお茶の水女子大学中国文学科相原研究室「244会」の方々に感謝の意を表したい。

〈参考文献〉

呂冀平《漢語語法基礎》黒龍江人民出版社，1983。

黄伯榮・廖序東《現代漢語》（修訂本）甘肅人民出版社，1983。

- 郭翼舟《漢語知識講話》副詞 介詞 連詞》上海教育出版社，1984。
- 朱德熙《語法講義》商務印書館，1982。
- 陳永生〈也談動詞後面的“到”——《談談動詞謂語後面的“到”的性質和作用》質疑〉
《重慶師範學院學報》1981年2期（《現代漢語補語研究資料》所收）
- 呂叔湘主編《現代漢語八百詞》商務印書館，1980。
- 黃華〈“動（形）+到+……”的結構分析〉《天津師大學報》1984年第5期（《現代漢語補語研究資料》所收）。
- 邵慶春〈也談是否取消介詞短語作補語〉《寧夏大學學報》1986年1期（《現代漢語補語研究資料》所收）。
- 宋玉柱〈評“介詞結構作補語”〉《語文戰線》1980年10月号（《現代漢語補語研究資料》所收）。
- 劉月華等《實用現代漢語語法》外語教學與研究出版社，1983（相原茂監訳『現代中國語文法総覧（上・下）』くろしお出版）。
- 趙元任著，呂叔湘訳《漢語口語法》商務印書館，1979。
- 施正宇〈現代漢語離合動詞的結構和特点〉《語言學知漢語教學》北京語言學院出版社，1990。
- 房玉清《實用漢語語法》北京語言學院出版社，1992。
- 北京語言學院語言教學研究所編《現代漢語補語研究資料》北京語言學院出版社，1992。

資料一覽

- 資料1 《1949~1979 上海兒童文學選》第1卷，少年兒童出版社，1979。
- 資料2 茅盾《子夜》人民文學出版社
- 資料3 浩然《笑話》
- 資料4 蘇叔陽《旅途》
- 資料5 楊朔《香山紅葉》
- 資料6 魯迅《藤野先生》
- 資料7 《老舍幽默文集》
- 資料8 浩然《道口》
- 資料9 魯迅《故鄉》
- 資料10 楊絳《大笑話》
- 資料11 楊絳《事業》
- 資料12 茅盾《白楊禮贊》
- 資料13 高曉聲《陳奐生上城》
- 資料14 楊絳《洗澡》
- 資料15 許地山《落花生》